

[第851回ゼミ報告] 2023年2月3日号

外ではもうマスクは付けなくてもいい、それでも付けている人のほうが多い。さてお上は5月から内外でもマスクは個人判断というが、どうなるか…

1月25日のゼミは、マルクス『資本論』3巻7編51章「分配諸関係と生産諸関係」・52章「諸階級」を小野さんの報告で行いました。新たな価値は三つの異なる収入形態をとって分解する。この分配関係は社会的生産の本性により現れる。資本主義以前の分配様式は自然的な分配関係であったが、資本主義では独自の歴史的規定性により生産様式を持つが、分配関係も同一であり、その裏面である。生産物は一方では資本に、他方では諸収入に分かれる。資本はある分配を前提して独特の社会的性質を与える。単なる労働力の所有者、資本の所有者、土地の所有者は近代的な三大階級を形成するが、イギリスにおいてさえ、階級的編成は純粋には表れない。階級形成は収入・収入源泉と同じであるが、しかし階級は社会的分業により無限に分裂していく。報告者からは、草稿は途中で中断しているが、マルクスは結論を出せなかったのではなく、第1部の結論である「収奪者が収奪される」は、第2部・第3部の展開を踏まえて結論を出した、と主張した。

討論では、生産手段の分配は自然的性格であるが、生産物の分配は歴史的な性格である。51章の最後に生産の物質的發展と社会的形態との衝突を説くことで、未来社会論を論じていることは重要だ。注57の「競争と協同」の著作とは、草稿集「経済学批判」での抜き書きだ。51章で物化と主体化、また48章で人格化と物化、ただし新書版では物件化と訳されるが、物神性・物象化との関係はどうか。52章は短い、あと何を書きたかったのか、53・54章はあるのか。階級を形成する収入とは異なる、物の収入への問題追及。階級とは何か定義されていない。52章最後の社会的分業による階級の無限の分裂を肯定してはいない。会場出席は川口さん・松村さん・山口さん・高田、オンライン参加は小野さん・斎藤さんの6名でした。

* 2月8日(第2週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 821 3309 9177 パスコード: 646256

* 1月25日(第4週)ゼミの3巻51・52章で資本論3巻を終わり、2月22日は「エンゲルスの補遺」行います。これで1巻から3巻まで終えました。第4週ゼミは古典をテキストにしています。3月以降のテキストの候補、推薦をお願いします。これまでのテキストは当方のHPに掲載

***** ゼミ日程 *****

- 2月8日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
柄谷行人『力と交換様式』第1部: 予備的考察 力とは何か 報告: 竹内さん
- 2月22日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
マルクス『資本論』第3巻 エンゲルスによる補遺 報告: 小野さん
- 3月8日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
柄谷行人『力と交換様式』第1部第1章 交換様式Aと力 報告者未定
その後 3/22 [アイクルの部屋]: 4/12, 4/26, 5/10, 5/24, 6/14, 6/28